ボーリング柱状図

調査名	30各土公第26号 各務山地質調査業務委託
事業・工事名	
ボーリングNo	
シートNo	

ボーリング名	No.1	調査位置	各務原市各務西町外地内	北緯	35° 24’37.02”
発注機関	各務原市土地開発公社	調査期間	平成 31年 1月 11日 ～ 31年 3月 29日	東経	136° 53’11.53”
調査業者名	株式会社朝日土質設計コンサルタント 電話（058－275－1061）	主任技師		現場代理人	
				コア鑑定者	
				ボーリング責任者	
孔口標高	50.45m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総掘進長	10.35m	地盤勾配	鉛直 90° 水平0° 15°	使用機種	
試錐機	D0－D				
エンジン	TF－90	ポンプ	BG－3C		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	孔内水位(m)／測定月日	(N)値
1				チャート	黄灰	D	V	d	ε	1	上部0.20m、表土 砂状～礫状コア 岩芯まで風化進行し土砂化 岩片は軟質	DH		50／26
	48.55	1.90												
2					淡黄灰	C	III	c	γ		5～10cm程の片状コア 亀裂面に沿って若干脆い	CL		50／0
	48.00	2.45												
					黄灰	D	V				砂状～礫状コア主体 一部、片状コア	DH		
3	47.45	3.00												
4					黄灰～黄褐	E	VI	d	ε		砂状コア主体、一部礫状コア 局所的に粘土状コアとなる 岩芯まで風化進行し土砂化 岩片は極軟質で、指圧にて砕ける	DM		31
5														31
6														22
7														10
8														27
9														28
	40.75	9.70												21
10					黄褐	D	V				砂状～礫状コア主体 一部、片状コア	DH		50／20
	40.10	10.35												

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

（ルジオン 標準貫入）試験
（P～QN値～深度）図
[ ]：ルジオン値
( )：換算ルジオン値
《》：限界圧力

深度 (m)	ルジオン値	N値
1.15	(19,21,10/6)	
1.41		
2.00	(50/0)	
2.00		
3.15	(10,10,11)	
3.45		
4.15	(11,11,9)	
4.45		
5.15	(8,7,9)	
5.45		
6.15	(3,2,5)	
6.45		
7.15	(9,6,12)	
7.45		
8.15	(13,9,6)	
8.45		
9.15	(6,8,7)	
9.45		
10.15	(12,38)	
10.35		

原位置試験（ ）	室内試験（ ）	掘進状況 掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(1／分)	排水量(1／分)
		3／13								
		3／14								
		3／15								

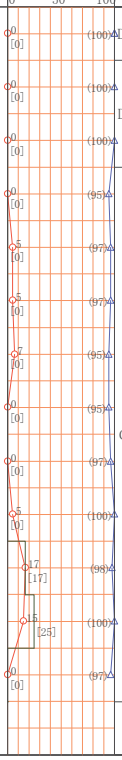
ボーリング柱状図

調査名	30各土公第26号 各務山地質調査業務委託
事業・工事名	
ボーリングNo	
シートNo	

ボーリング名	No.2	調査位置	各務原市各務西町外地内	北緯	35° 24’33.75”
発注機関	各務原市土地開発公社	調査期間	平成 31年 1月 11日 ～ 31年 3月 29日	東経	136° 53’11.64”
調査業者名	株式会社朝日土質設計コンサルタント 電話（058－275－1061）	主任技師		現場代理人	
				コア鑑定者	
				ボーリング責任者	
孔口標高	53.85m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総掘進長	13.00m	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	
試錐機	D0－D				
エンジン	TF－90	ポンプ	BG－3C		

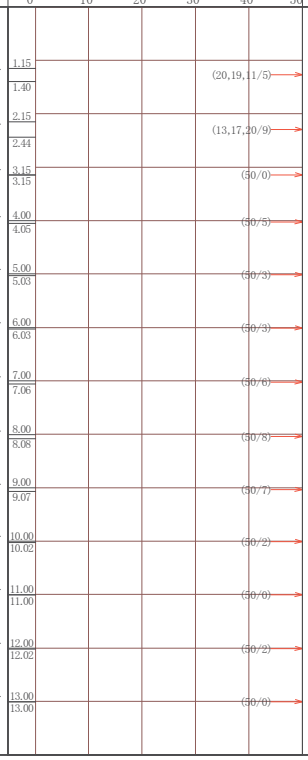
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	孔内水位(m)／測定月日	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(1／分)	排水量(1／分)
1	52.85	1.00		チャート	黄灰	E	VI				砂状コア 岩芯まで風化進行し土砂化 岩片は極軟質	DM			300	シングル	ダブルダイヤ	200	70	0	無水／0	0
2					黄褐灰	D	V	d	ε		砂状～礫状コア 岩芯まで風化進行して土砂化 岩片は軟質	DH			150			100	200	1	清水／3	3
3	50.85	3.00			淡青灰	C	IV	c	δ	1	礫状～5cm以下の片状コア主体 一部、10cm程度の短柱状コア 亀裂著しく発達する 亀裂面に沿って変色し、脆い 一部、亀裂面に沿って粘土化 コア状採取部も、潜在亀裂発達する 岩片は中硬質			2／16		86／ケーシング						
4																						
5																						
6														2／18								
7																						
8												CL			100			100	200	1	清水／2	2
9														2／19								
10																66／裸孔						
11																						
12																						
13	40.85	13.00												2／20								

コア採取率 △（%）　最大コア長 ○ cm　RQD ┗［%］



（ルジオン 標準貫入）試験

（P～QN値～深度）図
[ ]：ルジオン値
( )：換算ルジオン値
《》：限界圧力



原位置試験（　）

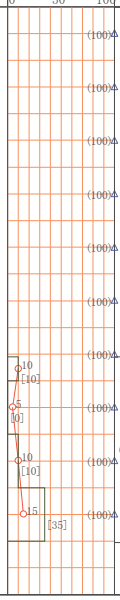
室内試験（　）

ボーリング柱状図

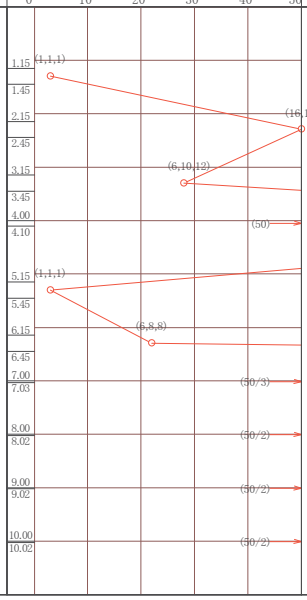
調査名	30各土公第26号 各務山地質調査業務委託
事業・工事名	
ボーリングNo	
シートNo	

ボーリング名	No.3	調査位置	各務原市各務西町外地内	北緯	35° 24’24.61”
発注機関	各務原市土地開発公社	調査期間	平成 31年 1月 11日 ～ 31年 3月 29日	東経	136° 53’13.82”
調査業者名	株式会社朝日土質設計コンサルタント 電話(058-275-1061)	主任技師		現場代理人 / コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	47.51m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総掘進長	10.02m	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 15°	使用機種	
試錐機	D0-D				
エンジン	TF-90	ポンプ	BG-3C		

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事
1 2 3 4 5 6	40.96	6.55		粘土混じり砂礫	暗褐灰～黄灰	C	III	b	γ	1	埋土 φ5～30mm程の角礫主体 局所的にφ150～300mm程の玉石点在 (コア長50～100mm程で採取) 礫間は粘土混じり砂 4.70～6.00m付近、粘土分多く混入し、粘土質砂礫状 含水中位
7 8 9 10	37.49	10.02		チャート	褐						5～10cm程の片状コア主体 不規則に亀裂発達する 亀裂面に沿って若干脆い 潜在亀裂発達する 岩片は中硬質



岩級区分	孔内水位(m)／測定月日	(N)値	原位置試験(　)	室内試験(　)	掘進月日	掘進速度(cm/時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l/分)	排水量(l/分)
	2/14 6.15 ▽	3 50 28 50/10 3 22 50/3 50/2 50/2 50/2			2/13 2/14								



ボーリング柱状図

調査名	30各土公第26号 各務山地質調査業務委託
事業・工事名	
ボーリングNo	
シートNo	

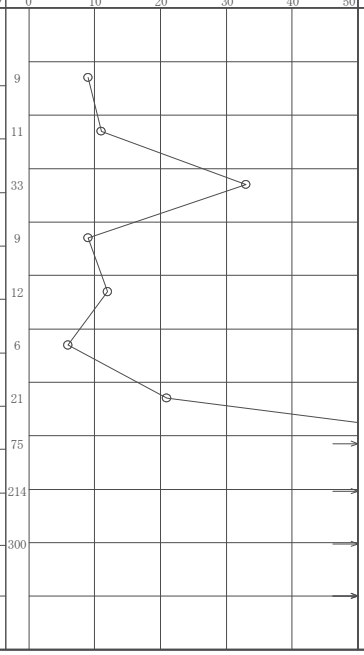
ボーリング名	No.4	調査位置	各務原市各務西町外地内			北緯	35° 24’ 23.13”
発注機関	各務原市 土地開発公社			調査期間	平成 31年 1月 11日 ～ 31年 3月 29日	東経	136° 53’ 13.81”
調査業者名	株式会社朝日土質設計コンサルタント 電話（058-275-1061）	主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	41.98m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平0° 0°	使用機種	試錐機	D0-D	ハンマー落下用具	半自動落下装置
総掘進長	11.00m								エンジン	TF90	ポンプ	BG-3C

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	41.48	0.50	0.50		砂質シルト	黒灰			黒ボク
1 2	39.28	2.20	2.70		シルト混じり細砂	黄灰	緩い～中位		砂の粒子概ね均等 砂は細砂～中砂主体 全体にシルト分若干混入 局所的に火山灰、浮石若干混入 含水中位
3	38.53	0.75	3.45		粘土混じり砂礫	褐灰	密な		φ5～20mm程の亜角礫主体 浮石若干混入
4 5 6	35.98	2.55	6.00		細砂	黄灰	緩い～中位		砂の粒子概ね均等 砂は細砂～中砂主体 局所的にシルト分若干混入 含水中位
7	34.33	1.65	7.65		礫混じり砂	黄灰	緩い～中位		砂の粒子概ね均等 砂は細砂～中砂主体 全体に浮石多量に混入 含水中位～大位
8 9 10 11	30.98	3.35	11.00		玉石混じり砂礫	黄灰	非常に密な		φ5～30mm程の亜円礫主体 φ150～360mm程の玉石多く混入 (コア長50～120mm程で採取) 礫間は細砂～粗砂主体 含水中位～大位

孔内水位(m)／測定月日：2/20 8.85

標準貫入試験

深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	3	3	3	9／30	9
1.45 2.15	1	5	5	11／30	11
2.45 3.15	20	8	5	33／30	33
3.45 4.15	2	3	4	9／30	9
4.45 5.15	4	4	4	12／30	12
5.45 6.15	2	2	2	6／30	6
6.45 7.15	5	7	9	21／30	21
7.45 8.05	30	20		50／20	75
8.25 9.00	50／7			50／7	214
9.07 10.00	50／5			50／5	300
10.05 11.00	貫入不能			50／0	
11.00					



原位置試験 深度(m)	試験名および結果	試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
						2/15
						2/18
						2/19
						2/20